

2017 年天文教育普及研究会年会のお知らせ（第 1 報）

西村昌能（年会実行委員長）

第31回天文教育研究会・2017年天文教育普及研究会年会は近畿支部が担当します。

メインテーマは、昨今、教育界に話題に上がっているアクティブ・ラーニングを取り上げ、これについて天文教育の立場からどのような取組を進められるか、実践報告を交え、皆さんの取組を交流していければと考えています。

さて、ご存じのように、京都を訪れる観光客は昨年過去最高の5500万人を越え、8月の宿泊者数は1年で最も多い1200万人を越えました。この状況は、この夏も変わらないとおもわれますので、年会を合宿型にし、宿泊の不便をなくすようにしました。しかし、客室定員にも限りがありますので、お早めに計画を立ていただき、早期の申し込みをお願いしたいと思います。

招待講演者の紹介や参加申し込みなど詳しい研究会案内（第2報）は「天文教育」5月号、天文教育普及研究会HP及びtenkyo.netに掲載いたします。また、エクスカッションは千年の天文学のふるさと京都らしいコースをNPO法人花山星空ネットワークに協力をいただき実施予定しています。

* * * * *

日 時：2017年8月6日（日）午後1時～8日（火）午後3時頃（予定）2泊3日

会場及び宿舎：西本願寺 聞法会館 <http://monbou.jp/>

京都市下京区花屋町堀川西入る柿本町 600-1（京都駅からタクシー5分、徒歩15分）

※ 繁忙期で京都の宿がとりにくいことに鑑み、100名分の宿泊部屋を確保しています。

各自で宿舎を取られて参加していただくことも可能です。

メインテーマ：

「アクティブ・ラーニングで天文教育・普及 ～主体的・対話的で深い学びを目指して～」

今年の年会は、今、学校教育で避けて通れぬ状況になっているアクティブ・ラーニング（AL）を取り上げます。

2017年2月14日、文部科学省は学習指導要領改定案を公表しました。その中に「アクティブ・ラーニング」の考えを踏まえた「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の文言が全教科に入りました。

アクティブ・ラーニングは児童・生徒の学びを取り戻し、深く考えることのできる市民を育てていく取組としてかなり以前から様々な草の根の研究活動実践活動が授業や学校改革の中で進められてきました。そこで、すでに実践事例の多い小学校からの報告を手始めに、各校種の実践者を交えたパネルディスカッションを企画しました。さらに、天文教育というカテゴリーの中でのアクティブ・ラーニングの活動の場としての天文台の取組をとりあげ、ワークショップを公募して研究会会場でALの実践交流を計画しています。

メインテーマセッション（2 日目午前を予定）

① 総説（趣旨説明）：西村昌能

② パネルディスカッション

パネリスト 小学校 蜂屋正雄（草津市立矢倉小学校）、
成田 直（川西市立北陵小学校）

中学校 山田隆文（奈良県立青翔中学校・高等学校）

高 校 西村昌能、有本淳一（京都工学院高等学校・予定）

大 学 富田晃彦（和歌山大学・予定）

司 会 有本淳一（予定）

③ ワークショップ（公募）

10 程度のワークショップを募集

④ 天文台セッション（課外学習型探究活動 AL の場として）

・西はりま天文台：本田聡志（予定）

・京都産業大神山天文台：中道晶香

・京大の取り組み：野上大作（予定）

その他一般普及から適任者を検討中

天文学最前線

今回も天文学最前線として現場で役立つ最新研究の紹介を研究者の方々をお願いしています。

「重力波（仮題）」講師：真貝寿明（大阪工業大学）

「系外惑星（ハビタブルプラネット）（仮題）」講師：佐々木貴教（京都大学）

なお、招待講演・パネリストおよび講演タイトルについては、現状では調整中で、今後変更される可能性があります。

問合せ先 ご不明な点は以下のアドレスまでメールをお願いします。

2017meeting@tenkyo.net

実行委員会構成

実行委員長 西村昌能

実行委員 有本淳一（京都工学院高等学校）、石井優子（明石市立天文科学館）、石坂千春（大阪市立科学館）、伊藤真之（神戸大学）、大山真満（滋賀大学）、尾久土正己（和歌山大学）、株本訓久（武庫川女子大学）、佐藤祐介（和歌山大学）、作花一志（京都情報大学院大学）、真貝寿明（大阪工業大学）、富田晃彦（和歌山大学）、中串孝志（和歌山大学）、中野英之（京都教育大学）、中道晶香（京都産業大学）、成田 直（川西市立北陵小学校）、野上大作（京都大学）、野口 亮（尼崎市立武庫東小学校）、西村一洋（枚方市野外活動センター）、蜂屋正雄（草津市立矢倉小学校）、穂積正人（兵庫県立舞子高等学校）、山田隆文（奈良県立青翔中学校・高等学校）、山内茂雄（奈良女子大学）、安田岳志（星の子館）、嶺重 慎（京都大学）